

支える人の学びの場

先生のための こころ塾 2014

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室

参加資格: 学校教員として仕事に就いている方・2日間 全日参加できる方

主催: 京都大学こころの未来研究センター

共催: 京都大学 医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室

A コース 2014年9月7日(日)、9月21日(日)

【A-1】9月7日(日)

- 「身体性の脳内機構: 身体でわかることの大切さ」 乾敏郎 (京都大学 大学院情報学研究所)
- 「心の発達 of 定型・非定型を考える」 明和政子 (京都大学 大学院教育学研究所)
- 実践報告 田村綾菜 (愛知県 コロニー発達障害研究所)、小川詩乃 (京都大学 大学院医学研究科)

【A-2】9月21日(日)

- 「コミュニケーション機能の神経機構と発達障害」 乾敏郎 (京都大学 大学院情報学研究所)
- 「児童虐待とこころの傷: 望まれる養育環境とは」 友田明美 (福井大学 子どものこころの発達研究センター)
- 実践報告 土井奈緒美 (京都大学 大学院教育学研究所)、畑中千紘 (京都大学 こころの未来研究センター)

B コース 2014年11月2日(日)、11月8日(土)

【B-1】11月2日(日)

- 「身体性の脳内機構: 身体でわかることの大切さ」 乾敏郎 (京都大学 大学院情報学研究所)
- 「発達性読み書き障害とその支援」 宇野彰 (筑波大学 人間総合科学研究科)
- 実践報告 田村綾菜 (愛知県 コロニー発達障害研究所)、小川詩乃 (京都大学 大学院医学研究科)

【B-2】11月8日(土)

- 「他者を知り、共鳴する脳と発達障害」 乾敏郎 (京都大学 大学院情報学研究所)
- 「プレイセラピーの中で向き合う現実」 黒川嘉子 (奈良女子大学 生活環境学部)
- 実践報告 村上公也 (元京都市立小学校 特別支援学級教員)



支える人の学びの場 先生のための こころ塾 2014

現代の社会の中には、人を支えることを仕事として
いる人たちがたくさんいます。

支える人は、子どもやお年寄り、病気の人や身体の
不自由な人たちが幸せに暮らせる社会の、一番の担
い手でもあります。そして、支える人たち自身も元氣
で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす
日本社会の姿ではないかと考えます。

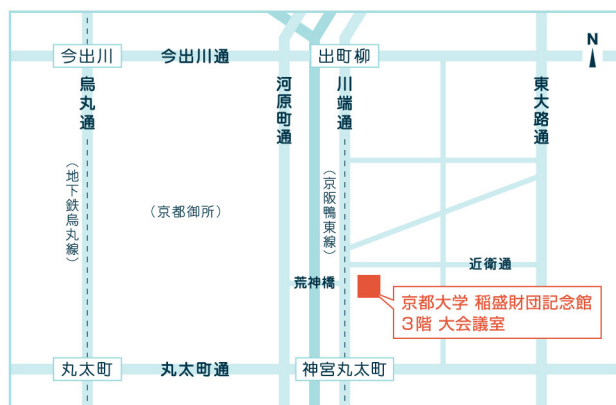
京都大学こころの未来研究センターでは、こうした
考えのもとで、2013年に「支える人たちを支える
学びの場」を作り、医療専門職の人たちを対象に4日
間のこころ塾を開催しました。

2014年度は、先生向けのこころ塾2014(2日間
コース)を新たに加え、記載の内容で実施します。多
数の申込みをお待ちしております。

なお、AコースとBコースは同じ内容の講義が一部
含まれますが、2つのコースを同時に申し込むこと
も可能です。

京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室
(京都市左京区吉田下阿達町46 [川端近衛南東角])

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>



プログラム【教員対象】

A コース: 2014年 9月7日(日)、9月21日(日)

B コース: 2014年 11月2日(日)、11月8日(土)

(各日とも10時から17時まで)

9:30～	受付開始
10:00～12:00	講義と質疑 講師: 乾敏郎(情報学研究所)
12:00～13:30	昼食
13:30～15:00	講義と質疑 講師: ゲスト講師
15:20～16:00	実践報告
16:00～17:00	情報交換会

申し込み方法

■ 定員

A、Bコースとも 100名 (申込による先着順)
※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

■ 参加資格

- ◇ 学校教員として仕事に就いている方
- ◇ 2日間全日参加できる方

■ 情報交換会費

1,000円 × 2日 (初日に集めます)

■ 申し込み方法

E-mail でお申し込みください。件名に
「こころ塾2014教員(AまたはB、または両方)申込」
と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。

■ 必要事項

- ①氏名 ②所属機関 ③経験年数
- ④返信用メールアドレス

■ 連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター
リエゾンオフィス (平日9時～17時)

↓ Mail to →
kokoro-t@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

